



nGlobe 交流スタディ2021 6～9月開催のお知らせ

多文化環境と看護ケア

～ドイツとの交流セミナー～

ドイツのシャリテ医科大学病院のウテ・ジーベルト先生と、ドイツの看護師の方々を交え、2019年度からの継続セミナーとして、2021年度は事例を通して意見交換を深める交流スタディを開催致します。多文化対応能力は、継続した学びが求められますので、この機会を活用いただけます。本テーマに関心のある方、初めての方、どなたでもご参加いただけます。

逐語の日本語訳付で、ZOOMウェビナーで開催予定です。各回で事前に申込されますと、招待URLと参加方法のご案内をお送りいたします。

申込は各回ごと（参加費無料）

申込URLは、ホームページでお知らせいたします。



<https://www.n.chiba-u.jp/nglobe/>

開催日時 nGlobe交流スタディ2021

- ◆6月19日（土）16～17時 事例1「習慣の違いから生じた行き違い」他
- ◆7月17日（土）16～17時 事例2「カリカリのトースト」他
- ◆9月18日（土）16～17時 事例3「患者の権利の主張」他（事例は予定です）



Thomas Große



Coshima Morthey



Dr. Phil Ute Siebert



Jutta Marquardt



Kalia Carlos Dogbevi

ウテ・ジーベルト博士は、ドイツ・ベルリンを拠点に、病院や医療機関などにおいて、多職種多文化対応トレーニングのコーチングやカウンセリングを行なっています。ご専門は、社会人類学で、1992年米国ワシントン大学で文化人類学を学び、フンボルト大学で1997年修士、2003年博士（社会人類学）を授与されています。2013年から国際精神分析大学講師、2017年からドレスデン国際大学講師など。2014年からシャリテ医科大学におけるIPIKA（医療職の多職種多文化能力開発）プロジェクト開発者です。



- ・ウェブでどこからでも安心安全に参加できます
- ・参加者の顔は映りません
- ・通訳付きで相互に意見交換や質疑応答ができます

本セミナーは、JSPS基盤研究(A)研究代表者 千葉大学 野地有子
研究課題名「世界をリードするインバウンド医療展開に向けた看護国際化ガイドライン」の助成により実施いたします